

ともに暮らす

空と大地と生きる。
歴史を胸に生きる。
情熱を注ぎ働く。
ともに暮らす人々と、
未来を生きる人々のために。
それがこのまちにある、
美しい暮らしの風景——。
「空港」「自然」「歴史」
「産業」「活力」の5つの視点で
まちの今を見つめます。



Graphics Feature
True companionship...together in everyday life
Living with the sky and the earth. Living with history in our hearts. Working with passion. For the people who are living together now, and for those who will live here in the future. This is the beautiful tapestry of life found here in this town. We capture here the present state of Shibayama Town from five perspectives: the airport, the natural environment, our history, industry, and vitality.



1 Airport—Our town is next door to the world
The town of Shibayama is adjacent to Narita International Airport, Japan's gateway to the sky. Look up, and you'll see airplanes from all over the world crisscrossing the sky. The town is promoting new community development efforts, based on the further extension of Narita Airport's functions and the New Narita Airport Concept. Guided by the principle of coexistence and mutual prosperity between the airport and the local community, we will move forward together into the future as part of 'Airport City.'

日本の空の玄関口である成田国際空港に隣接する芝山町。空を見上げると、世界各国の飛行機が飛び交っています。空港南側エリア「スカイパークしばやま」には、航空科学博物館や空の駅風和里しばやま、ひこくぎの丘などの観光資源が集まっており、多くの観光客で賑わっています。また令和2年には、航空教育の役割を担う「空飛ぶ学び舎ラボ」も整備されました。成田国際空港のさらなる機能強化や「新しい成田空港」構想などを踏まえ、芝山町は新しいまちづくりを進めています。空港と地域の共生・共栄を理念とし、エアポートシティの一部としてともに未来へ歩んでいきます。



①成田国際空港 ②世界各国の航空機が見られるひこくぎの丘 ③飛行機と桜 ④飛行機の仕組みなどを学べる航空科学博物館 ⑤ JALフェスタの折り紙飛行機教室 ⑥芝山町上空



空飛ぶ学び舎ラボ
藤木 来瑠実さん

Interview 空港での多様な働き方を伝えていきたい

「空飛ぶ学び舎ラボ」は、2022年11月にオープンした、新しい形態の教育施設です。より気軽に・より身近に“体験”を通した学びを提供できる場として開設しました。私は受付や案内の仕事をしているのですが、小・中学校での校外学習や、幼稚園児向けの粘土教室などで、子ども

たちの楽しそうな様子や笑顔を見ると「私たちも教育に関わっているんだな」というやりがいを感じます。大人の方向けの企画やプランも用意しているので、幅広い世代の皆さんの興味を育むことで、航空の未来につなげたいと思っています。

#1 空港
Living with ...
ともに暮らす

ここは、
世界のトナリマチ。



2 Natural environment—Seasonal flowers bring color to the town

Airplanes landing and taking off at Narita pass over Airport Greenport Eco-Agripark, where rapeseed blossoms sway gently in the breeze. Despite its proximity to the airport, Shibayama retains its beautiful natural surroundings. The Kido and Koya Rivers wind through the town, bordered by beautiful farmland and traditional country landscapes.

菜の花がふわりと揺れるグリーンポートエコ・アグリパークの上空を、成田空港で離発着をした飛行機が飛び交います。心地よい風や鳥たちのさえずりを感じながら、「この飛行機はどこに向かうのか」と空を見上げる時間は、芝山町ならではの贅沢な時間です。

空港に隣接する町でありながら、芝山町には美しい自然が残っています。町内を木戸川と高谷川が流れ、美しい田園が広がっており、日本の原風景である里山が見られます。里山とは、人里近くにあり、昔から人々が生活のために利用してきた森林のこと。町内では市民団体などが里山保全に取り組んでいます。



①グリーンポートエコ・アグリパークの菜の花と飛行機 ②田園地帯を流れる高谷川 ③四所神社の桜並木 ④芝山仁王尊のつつじ ⑤新緑の芝山公園 ⑥紅葉の芝山仁王尊境内



竹炭サークルかぐや姫
坂井 一任さん

Interview 竹を通じ、自然への愛を育む

自然をこよなく愛する仲間たちと「竹害からちくさい竹財へ」をコンセプトに活動しています。私たちは自作の炭焼き窯を使い、竹炭や竹酢液を作りながら、竹灯ろうモニュメントやその他の竹製品を制作しています。竹林の整備なども行っており、県から「千葉県里山環境保全条例認定

団体」に認定されました。今後も芝山古墳・はにわ博物館や文化活動団体と協力し、里山の環境保全を心掛けながら地域社会の活性化にもつなげていきます。私たちの活動を通し、竹や自然の価値を多くの人に理解していただき、自然を愛する心を広げたいですね。



季節の花々が、
まちを彩る。

3 History—People have lived here from long ago in a shared spirit of community
Shibayama Nioson Kannonkyo-ji Temple, from which the town's name originates, was founded in 781 A.D. In the Edo period (1603-1867), the temple, enshrining a pair of Nio gods guarding against fire and burglary, was a center of devotion for the common folk, including the Edo firefighters. In 2024, the town launched the Shibayama History Park Utilization Promotion Council with aim of vitalizing the region. The Council focuses on fostering and maximizing the historical and cultural assets that can be found throughout the Shibayama Park area.

町名の由来にもなっている芝山仁王尊観音教寺。創建は781年。江戸時代には火事・泥棒除けの仁王様として江戸の火消し衆をはじめ庶民の信仰を集めました。門前には旅人を宿泊させ食事を提供する旅籠や商店が立ち並び、各地からの参拝客で賑わいました。現在も3軒の旅籠の建物が残っており、当時の面影が感じられます。

歴史的文化遺産が点在する芝山公園周辺を活用して町の活性化につなげるため、芝山町は2024年にヒストリーパークしばやま活用推進協議会を設立しました。インバウンド獲得も視野に入れ、町の歴史的文化遺産を巡るガイドツアーなどを開催しています。



①芝山仁王尊三重塔 ②緑に包まれた旧藪家住宅 ③殿塚古墳の桜 ④芝山仁王尊三重塔の龍の彫刻 ⑤門前の旅籠を案内するヒストリーパークしばやまガイドツアー ⑥龍の武人埴輪



ヒストリーパークしばやま活用推進協議会会長
稲垣 弘さん

Interview 歴史遺産を活用して地域の活性化につなげたい

芝山仁王尊は子どもの頃から身近な存在でしたね。以前は十七夜講(縁日)で露店や見世物小屋が立ち並び、階段まで人で一杯になるほど参拝客で賑わって、子どもには危ないからと行かせてもらえないこともありました。これまでに何度かヒストリーパークしばやまのガイド

ツアーを開催しました。インバウンド向けモニターツアーではオーストラリア、ドイツ、香港などから参加され、写経や護摩行体験などが喜ばれました。また、旧藪家コンサート、せんべい焼き体験などは町民の参加もあり大変好評でした。今後も町の活性化につなげていきたいです。

人々は古から
心をひとつに暮らしてきた。



4 Industry—with pride and deep passion
Blessed with fertile soil, Shibayama Town's core industry is agriculture, especially the cultivation of watermelons, carrots, and ornamental flowers. These products are shipped nationwide, but they are also sold fresh at local "Michi-no-Eki" and "Sora-no-Eki" (roadside and sky) stations. The Kawatsuba area, known for its vibrant farming life and convenient living environment, is now being developed as a Rural Lifestyle Creation Hub to meet relocation needs centered around agriculture.

肥沃な土地に恵まれた芝山町。基幹産業は農業で、スイカやニンジン、花卉栽培などが盛んです。生産者達が手塩にかけて育てた野菜は全国に出荷されるほか、新鮮なうちに道の駅や空の駅に並びます。また、町内では田植えや稲刈り体験、農泊なども行われています。

農業の後継者問題が深刻化する一方で、町内ではUターンして新規就農する若者がいるのも事実です。畑作が盛んでスーパーや病院も立地し、生活利便性が高いエリアである川津場地区は、「農」をテーマにした移住ニーズに対応した「田園型居住地創出拠点」として整備が進められています。



①日本一の生産量を誇るサンダーソニア ②山あい広がる田園 ③芝山の豊かな大地がスイカを育てる ④芝山小学校の稲刈り体験 ⑤地元の新鮮な野菜を使ったレストランFUWARIのバイキング ⑥ニンジンは春と秋に出荷する



スイカ農家
松本 重之さん

Interview スイカの収穫は半年の苦労が報われるとき

この地域の土壌は火山灰土で水はけがよいので、スイカの生育に合っているのでしょうね。うちも父の代からスイカ農家です。作っている品種は3〜4種類ほど。丸朝園芸農業協同組合のスイカ部会で毎年新しい品種を試していて、この土地に合う品種は新しく取り入れています。

スイカは12月に種をまいて苗を作り、3月に定植、5〜7月に収穫します。天候やミツバチの交配の影響などで実になる割合が左右されますし、手間がかかる作物です。しかし、試行錯誤した分、収穫できたときの喜びは大きいですね。



誇りを持ち、
情熱を注いできた。

5 Vitality—Live here and shape the future
Shibayama Town is home to many community-based events, including the Shibayama Haniwa Festival, which began in 1982. People dressed in solemn traditional costumes appear as ancient figures returning to the modern world. The Shibayama Summer Festival, launched after the COVID-19 pandemic, features traditional bon odori dancing and draws lively crowds. Meanwhile, the Hishida Kashima Shrine Votive Sumo Matches, a tradition passed down for over 150 years, brought its long history to a close in 2025.

地域を盛り上げる賑やかなイベントや伝統ある祭礼など、芝山町には地域に根差した行事が数多くあります。

代表的な祭りといえば、はにわ祭です。厳かな古代人の衣装を身にまとった人々が降臨。古代人の心の豊かさや素晴らしさを振り返るために、1982年に始まりました。コロナ禍を経て新たに誕生した芝山夏祭りでは、過去に菱田地区の祭りで使われていたやぐらを設置し、盆踊りを実施。会場の航空科学博物館は多くの人々に賑わいます。一方で、150年以上受け継がれてきた菱田鹿島神社の奉納相撲は、令和7年に長年の歴史に幕を閉じました。



①芝山はにわ祭 ②芝山夏祭りでは老若男女が盆踊りに参加 ③新年の夜を彩る芝山カウントダウン花火 ④菱田鹿島神社の奉納相撲 ⑤町民体育祭の新たな形として、オープン参加形式で行われる芝山スポーツフェスティバル



菱田相撲会会長
藤崎 寿史さん

Interview これからも地域のつながりは続いていく

菱田鹿島神社の奉納相撲は、空港機能強化による移転に伴って令和7年に150年以上の歴史に幕を閉じました。私も子どもの頃に相撲に参加して、おもちゃやお菓子をもらった思い出があります。参加者は少なくなりましたが、「子どもたちに楽しんでもらえれば」という思いで

運営に携わっていました。再開する予定は今のところないですが、今後そういった話が出たら、その時に考えようと思っています。地区の人と会う機会は減ってしまうかもしれませんが、地元に関わっている限りは人と人のつながりはなくなりません。



ここで暮らし、
ともに未来を作って
いきたいから。